



□ 仙波東照宮

徳川家康をまつる東照宮は、家康の没後その遺骸を久能山から日光に移葬した元和3年（1617）に、喜多院に4日間留めて法要を営んだことから、寛永10年（1633）天海僧正によって創建された。現在の建物は、同15年の大火で延焼したのち17年に完成したもので全てが重要文化財に指定されている。規模は小さめながら、木立に囲まれた幽玄な風情を持ち、日光・久能山とともに3大東照宮といわれている。